京城新報

特別廣告

小生儀豫て大韓醫院に入院中の處全快退院從前の通法律事務に從事致候

追而新聞紙上小生に關する浮説に付種々御慰問を辱ふし奉深謝候該記事は小生に於て何等の關係無之に付爲念申添候

京城中部磚洞十一統一戸

辯護士　藤井太郎　（電話千八十七番）

甘茶澁茶

▲ブックメーカー

「二元論」も著けば「二元論」も著した所謂ブックメーカー高橋某にも劣らぬ名家が續々現はれ出づるには驚かざるを得ない、伊藤公が殪るゝや三日を出でずして「大勳位公爵伊藤博文」「伊藤公と韓國」なる書出づ、其内容の如何はまだ窺はざれども機を見るゝの甚だ敏にして金儲けに拔目なきには實以て敬服する、題具に使はるゝ主人公こそよい面の皮なり、是れも亦た禍を變じて福となすの傀儡の一種か咄、

▲小供嗅き讀方

跋乃をカンタイと讀み癡と履とを混同し刊を刋に己を巳に代用する例は隨分ある、饒舌をギョウ舌副將軍をフク將軍組織を組シキ輸出をユ出進捗を進ショウ參差をサンサ丁々をチョウ〳〵溺々をデキ〳〵大將をタイ將食をショクと讀み慘澹を慘憺缺を欠と書くの類は餘り小供嗅し

▲是も亦た分業歟

倫理學者が口入ケ間敷倫理道德八倫五常の道を說けども實踐躬行するものに至ては尠ない、無學文盲の輩で門に忠表の旌彰せらるゝものが少なく、あるものは不思議と云へば實に不思議だ、世の開くると共に學者は只學理的に如何なるものが道德人は如何なる程度マデ所謂道を遵らねばならぬか道德のシニウエルは何處にあるかと講究するのみで行ひ手は別にあると云ふ類付してるのには恐縮する、是れも亦た所謂分業なるもの〻餘得の一か

▲顔拭く秋

獨立自尊は決して福澤先生の專有物ではない、依賴心は最も人の向上心を腐蝕する汚物である、吾は我が力のベストを盡くして尙ほ及ばずんば幷は其れまでと諦めよ、人の秋で顔を拭くなよ

▲愚痴は馬鹿の親類

隈伯恒に人を誡しめて曰ふ、考へて居るものは失敗し實行するものは成功する行つて見て失敗したらば更に成り直せよ人の腦力には限りあるものを無暗矢鱈に考へ込めばとて只同じ事を繰返へすに止まる一度胸に此くと浮ばゞ直に着手せよ考へ過ぎれば愚痴に陷る愚痴はヨッポド馬鹿の親類である、とは隈コウ云ひ得て妙、

▲罪は誰が償ふ

吾が腎は我が手で拂はねばならぬ人に賴て始末付けられたる借金の尻は又た必ず同じ穴に落ちる、吾が爲したる始末は我が力によつて爲さゞるべからずである、乃ち云ふ己れの犯したる罪は只己れによつてのみ償はるゝ、

雜報

木越師團長の談

龍山支局　長野生

北韓を巡視して一昨三日夜歸任せられたる中將木越閣下を第六師團司令部に訪ふ刺を通じて應接室に導かれ待つこと少時、將軍は靜かに閉を排して室に入り、極めて謙讓なる態度もて記者に接せらる、颯爽たる英風、溫乎たる聲調、謹嚴の裡、磊落の風あり、眞に猛獸も馴れ小兒も懷くべし、記者は一路の春風胸臆に掐曳するが如き感あり、將軍は絶へず口邊に微笑を堪へつゝ語らるゝなりき。

予は二十七八年及三十七八年兩度の戰役に西韓の地を通過したることあれども北韓は今回の行を以て初めとす、各地守備の諸兵を檢閱せしが諸事良好の狀態に在り衛生事項は兵士の駐屯せる地方は韓人に至る迄憲兵警察官等の注意に依り甚だ善く行届けるを見たり、然れど韓人等が居宅に於ては衛生上周到なる注意を擧びつゝも路上糞便を催すの平氣なるは甚だ滑稽なり、羅南に達せし時は既に兵營竣成して兵の移轉を了り居たるが一般の狀体遺憾を感ずるもの無かりき、軍需品中食料品の如きは之れを地方に求めて何等不便なし唯魚類は季節に依りて殆んど全く供給を欠ぐことあるのみ。

予は北韓は山岳連亘して平野少なからんと想像し居たりしに案外廣き平野を有せり、予が五師團に在りし頃、同地方は山地のみ多くして演習に尠からず不便を感ぜしが、北韓は我中國南部の沿岸地方よりも廣大なる平地あるを以て予は甚だ喜ばしく思へり。

歸路は海路を取り或は陸行などして元山に出でしが、同地より陸路京城に歸へる豫定なりしも、時日の都合上、海路釜山を經て歸京せり。

元山は予にとりて追懷多き地なり、二十七八年役に於て彼の金州丸に乘組み居たる兵士は、予が仁川に上陸せしより少し後れて未だ動員令の發せらる以前、大阪より高木少佐が率ゐ來りしものなりしが、北韓へ轉進せしむる必要ありて、予は陸路元山へ向け進發せしめ、途中糧餉供給の聯絡を講せしが間も無く彼の變事あり一入憐憫の情切なるものありしが、此行當時を追想して感慨轉深かりき。陸路歸京を企てしも實は當年の兵站線の跡を視察し置き度き心もありしなり。

斯く語りて語を斷たれたる時記者は將軍の不在中藤公遭難の事あり當地方は居留民の驚愕哀悼實に一方ならざりし赴を述べしに將軍は肅然として、形を正し。

「然もありし筈なり、誠に國家の爲痛惜に堪へず」

とて暫く語を繼ぐ能はず、眉宇憂愁の色深し。（未完）

俳句

●第七次五吟集　すみれ會

◎名月　むら撰

名月や笛の音流がす何處まで　萩水
名月や屋根美くしきあらび貝　玉糸女
抱く子の知るや今宵の月の歲　中庸
名月や小舟の中の手風琴　舞鶴
名月や歌も句もある風雅の會　不美女
名月や江に添ふて行く笛の人　萩水
名月に糸繰る左り隣りかな　一止
名月やにごれる川も美くしき　玉糸女
名月や江を隔てゝまつの上　四樂
名月や久し振りにて此の草家　笹波
名月や母は和琴に更闌くる　月哉
名月や大江の水幾うねり　凸坊
葉を辷る月に明るき庭かな　月哉
名月やきらりさ光るまつの針　笹波
銀泥に松の屏風や今日の月　四樂
名月や美人のすごき笑ひ顔　同

●懇抜●　強いて威章をもとめば玉糸女の屋根美くしきの見付所よきを推さゞるを得ず

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十二年　紀元二千五百六十九年

本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月十三錢

大祭日及び日曜日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎

京城西署西小門通（電話六六三）

發行所　京城新報社



第二十五席

伯山改　神田松鯉口演

此時爲朝は衆人に向ひ給ひ　爲「ヤ、一同にも種々と心配を掛けたが幸ひに風波の難もなく、異國に往きて容易に得たる事、誠に何よりの幸福であり」と是れより山より落ちしこと、騰雲國師の幻術、寧王女廉夫人の薄命、紀平治の水練に至るまで落ちもなく物語れば、並居る面々イト珍らしげに耳を傾けて謹聽致しました、其うちにも八代は夫の話など聽聞してイト嬉れしさうに見ねまする、斯なる所へ又もや都より催促の使者が參りましたので、爲朝は直ちに面會になり父上御心配の樣子を聽いて大に心を痛め、船路陸路の疲勞も厭はず、明日直ちに出立と云ふことになつた白縫姫は久振にて我が夫の歸へり來しと思ふ間もなく、又も別れねばならぬかと、思へば流石の女丈夫も悲しさの增す計りなれど、是れも浮世の常習と思ひ諦らめて、夜を徹して支度に及ばれ、從ひ往く面々は透間主計、惡七別當、手取の與次、弟與三郎、大矢新三郎、越矢源太、松浦次郎、打手の紀八、高間三郎以下廿六名を召連れ、又紀平治は長途の疲勞もあるべければ吉田兵衛、高間四郎と共に殘り留るべしと云ふ、紀平治は進出で　紀「某、豐後より付添ひ奉るに、今度の御上洛に殘り留まらんこと本意にあらず、拙者長途の勞れもあらば君に於かせられても御勞れのある道理、拙者とても君の爲めに粉骨砕身致さんと欲するの志は決して人に劣り申さず」と懇願致しまするので、夫れでは供せよと、あつて紀平治は喜び勇みて直に支度に及びましたさて夜はホノ〴〵と明け渡る、御供の面々は既に廣庭にズラリと並びて御曹司の出馬を相待たり爲朝もイト立派やかに扮裝ち八代に酌を取らせて男忠國、妻白縫と餞別の盃を爲し既に馬に乘らんとすれば、如何はしけん彼の野風と云へる狼、突然走り來て爲朝の裳を啣へて離れもやらず馬は之に驚いて頻りに嘶き騷ぎまする白縫姫之れを見て御曹司に向ひ　白「我が夫、妾は今狼の樣子を見參らするに心騷ぎて何となう安からぬ心地の致しますれば、願くは今度の御上洛は御止め遊ばされ、然るべき家來に鶴を持たせて上洛させ給へ」忠國も傍より　忠「實に娘の申す如く昔漢三國の時、吳の諸葛恪の畜たる犬は主の裳を引きて其の禍あることを知らせ、我國御堂關白の養ひ給ひつる白狗は車の御前を遮ぎりて路に呪咀の土器を埋めたるを知らせしとか、近くは山雄のことにても思知らるゝなり。全く娘の言ふ如く此度の上洛は凶多くして吉少なからん、止りし方得策ならん」と諫められた、御曹司は莞爾と笑ひ　爲「誠に舅殿の御言葉、嬉れしくは存ずるなれど、此度態々院宣を下し給ひ又父が年來の勘當を許されて上洛ずること、我が身に執りては此上の面目やあらん、古言にも怪を見て怪しまざれば其怪散ずといへり、深く心に止め給ふに及ばず、やがて歸り申すべしソレ野風を追退けよ」と焦燥てば郎黨等承はり一人は狼の首に鋼を繋ぎ一人は棒を以て追攔ちんとするに、野風は悲しき聲を張上げて支へる樣に蹲み付き腸も斷たん許りに鳴叫ぶ人々皆眉を愍め白縫も八代も爲朝の雄々しき心に止め兼ねましたが、野風が餘りに烈しく鳴きまするので　白「兎も角一夜だけは止め給へ」と申しますのを聞いて爲朝は大口開いて、カラ〳〵と打笑ひ　爲「男子世に處する宜しく磊々落々なるべし、禍福は係つて天にあり、生死固より何の心に關るところやあらん」と昂然として馬に跨り、鞭を鳴らして立出でる、誠に爲朝は男らしい方であります、何しろ百日の日限が既に九十日は過去つて居るのでありますから早く〳〵と道を急ぐ程に一同少しの休息もなく九日にて都へ着きました、如何に父の命なりとは言へ昨日は南海に風濤を凌ぎ、今日は遙るけき路を急ぎて少しも恨むる心なく早く君父の御顔を拜せんものと思ひ給ふ。



漢城便り

◉一世の才人伊藤博文公は其死所の凡ならざりし爲が生前に於ける相場以上に評價せられ偉人中の偉人として墓中の人と相成られ候死者に對する同情が味方は勿論敵と雖も同樣に厚きは愷に人間自然の美風にして之も亦故に墓中の人の夢囲とかなるを得ることゝ存候。

◉春畝公の才人なりしは何人も異議なし然れども公が偉人たるの程度に至つては各見る所に因つて多少の相違は免かれざることゝ存候附和雷同者流の盲言若しくは諛言は別として余輩は眞價公の評價を聞かんと欲するものに候。

◉公の死や可惜公の死や可惜と幾回繰返せばとて墓中の人は呼返し得るものに非ず、扨は葬式も濟みたる今日に於ては最早余輩は公の死に就ての感情的解決を去り合理的解決を試むるの至當なるを唱導致候。

◉伊藤公とて今でこそ尊なれ神樣なれつい先立て迄は人類の一員にして而かも俗中の俗なる一人間たりしことは余輩の言を俟たざるところなり假令公がハルビンに於て死せずとも將た大磯に於て死すとも此事實は抹殺し得らるべきに非ず公の偉大は偉大として人間として有せし公の缺點は公の偉大と共に傳ふるの可なるを信じ候否必要なるを信じ候。

◉公の偉大は余輩に於ても異論なき處面も前文に於て申せし如く疑問は其程度如何也、世に絕對的偉大あり相對的偉大あり又境遇的偉大あり而して公が以上三者の何れに屬するやと云はゞ余輩は其境遇的偉大なりしことを斷言するに躊躇せざるものに候

◉晩年に於ける公は稍善人の風ありしと雖そは還曆の結果にして公が活動時代に於て發揮せしは才人たるの面目に候公は其才を以て巧に先輩同輩後輩等の國家に盡したる効績を代取し否な或場合に於ては拾取し終に蒔かずして收穫に妙を盡したるものに候。

◉對韓問題に就ての公の効績と稱するものは實は蒔かざる收穫の一に候、彼の第一協約の如きは時の公使林及長谷川大將の生出したるもの第二協約に於ても亦而り余輩が公を呼ぶに境遇的偉大を以てする決して失當ならずと信ず

◉人公伊藤を比するにカブールを以てする余輩之を採らず寧ろクリスピーに比するの至當なるを信じ候。

◉而れども世に實質的價格と交換的價格の存する限り先輩の功にもせよ將た同輩後輩の功にもせよ總てを自己の物となして市場に賣出し高價を制するも殊更に咎むべきことにあらずや知るべからず茲に到つて知る余輩は故春畝公の交換的價格の如何に偉大なるも余輩に於て決して批評すべきにあらざることを

◉偉人偉人偉人は疑問なり墓中に於ける伊藤公は如何なる種の偉人なりしか

東京電報

▲**大使公使の任免** 米國駐劄全權大使高平小五郎男は其職を免せられ後任には墺國駐劄全權大使内田康哉氏任命せられ又墨其哥駐劄全權公使荒川己次氏は西班牙駐劄全權公使兼葡萄牙駐劄全權公使に任命せられたり(六日夜着)

▲**鍋島總長の榮轉** 荒川墨其哥公使の後任は統監府外務部長鍋島桂次郎氏に決定せり(同上)

▲**新聞記者の活動** 在東京新聞、通信記者は昨夜階樂園に會合し對韓問題の根本的解決に就て意見を交換し一團体を組織したる上六名の常務委員を撰定し大々的活動をなすに決せり(七日)

紐育電報

▲**ルーズベルト氏は無事** 亞弗利加内ロビに於けるユナイテッドプレス特派通信員の發電に曰く前大統領ルーズベルト氏の一行は無事なり一行の一時露營地を離れ其の消息斷絕したる爲め氣早の通信員が直に猛獸に喰殺されたりと發電したるものにて一行は無事歸營し父子共に元氣極めて旺盛なり(七日午後東京經由)

▲**宋等の躍起運動** 宋秉畯等は今回の事件を機とし李内閣の更迭乘取りを畫策しつゝあり(同上)

▲**帝國議會の召集** 第廿六回帝國議會は來る十四日召集令を發し十二月廿四日召集廿五日開院式行幸の事に略定せり(同上)

▲**歲費增額の運命** 官吏俸案の代償として總花的に立案せられたる議員歲費增額案は近來增俸削減地租輕減論漸く盛にして議員等も義理にも歲費增額に反對せざるべからざる破目に立至りたるを以て同案の否決せらるべきは確實なり(同上)

▲**勸業總裁任命期** 高橋勸業銀行總裁辭任の後任山本達雄氏は株主となりて六ケ月を經過せざるを以て同社の定款上未だ重役の資格なく從つて任命を經ざるも本月末には制限に達するを以て其と同時に任命發表を見るべし(同上)

▲**大演習の御統監** 大元帥陛下には昨日大演習地德久村の高地なる御野立所に成らせられ奥參謀長は御前に進み大演習地圖を捧呈し兩軍部隊所屬を一々言上したるに陛下には熱心に御聽問あらせられたり

▲**韓銀繼承の評價** 韓國銀行が第一銀行より繼承すべき土地建物什器其他の評價は先きの契約に基き大体は四十年の時價に依り買入金額を換算したる代金は約百五十萬圓と見積れり(同上)

▲**勅使一行の出發** 韓皇勅使閔宮内大臣一行は本日午後三時四十分新橋發歸韓の途に就く(九日)

▲**奉天京城間直通** 滿鐵野々理事の談に依れば安奉線の改修工事及び鴨綠江の架橋工事を完成して京城奉天間の直通列車を通ずる來るは四十五年の見込なり(同上)

▲**米價繰上の方針** 政府は米價繰上策として米の輸出を奬勵する方針なるも特に補助金を下附せず(同上)

紐育電報

▲**ル氏遭難の別報** 東阿弗利加ナイロリスよりの電報によれば亞米利加前大統領ルーズベルト氏は狩獵の際象の爲め打殺せられ今日迄の處にては米國外務省に何等の報導なく又一說には負傷したるも存命せる旨の報知もありて確否何れとも言明し難きも之が爲紐育市中は大騷擾を極め居れり(七日東京經由)

伯林電報

▲**藏相の渡日中止** 彼得堡來電によれば露國藏相の東京行は外相の不同意により中止せられたり(七日東京經由)

▲**英獨協約の主張** 柏林保守黨の機關紙は英獨兩國は互に確然と其領土保全を計らん爲め條約を締結するの有利なるを稱導せり(同)

雜報

▲**英皇帝の辰誕日** 九日は英國皇帝陛下の御誕辰相當日に就き統監府各領事團は敬意を表すべし尚は清國總領事は當日大葬日に付八日英國總領事館を訪問したり

▲**凶變と曾禰統監** 今回の凶變を期として退韓政策を一變すべしと論する新聞紙あるも真に空論に過ぎず一時の感情に驅られて濫りに大事を誤るべきにあらず然れども伊藤公が韓人の兇手に殪れたる事實は重大なるを以て當局は着々相當の處置を執りつゝあり要するに今は冷靜に事件の進行を見るべきのみ抑も日本の敵は韓國にあらず日韓共同利益を阻害するは暴徒なり排日者なり故に我對韓經營は漸を以て進まざるべからず殊更今日の事に依りて根本的政策を變更すべき必要を認めずと曾禰統監は語れり(福岡日々所載)

▲**曾禰統監の引籠** 曾禰統監は一昨日より感冒にて引籠治療中なるが本日は非常に發熱し侍醫等は大に憂慮し居れり



米國前大統領　ルーズベルト氏
巨象に殺されしと傳へられし

▲**德壽宮の會合者** 一昨日閔族の重なる者等閔泳徽、閔泳韶、閔泳綺其他は德壽宮に參内太皇帝御前にて鳩首時局に關し密議したりと

▲**鍋島氏の出發期** 統監府外務部長參與官鍋島桂次郎氏は別項東電の如く愈々墨士其公使に轉任する事に決定したるを以て來る十日當地出發歸朝すべしと但し轉任の發表は來月中旬となるべく赴任は來年二月也

▲**電車延長の行惱** 市中交通の尤も頻繁なる本町通りは頗る狹隘に失し恰かも馬背の如く凸凹を極むるのみならず廂帽殆んど相接するばかりにて交通上不便尠からざるより居留民一同は南大門通りの電車道より支線を出し農商工部前の街路より赤門迄電車を敷設するを得ば本町通四丁目山口呉服店附近の店舖は素より四丁目以東の貨物集散は該電鐵によりて交通運搬を圖る事となり延ひて狹隘不便なる本町通りを荷車の往來するが如き事なきに至るべく居留地發展の爲め尤も賀すべき事にして運搬賃も低廉にて便するを得べく諸般の便利尠からざれば過日來商業會議所より此等居留民一同の要請を警視廳に向つて交涉するところありしも何分赤門前の道路狹隘なる爲め黃金町四ツ辻迄は認可を與ふるもそれ以上に延長するは危險なりとの意見にて内部にても之を許さず行惱みの体なるが居留地繁榮策として重要なる問題なれば敷設後立番を附し電車を徐行せしむる等諸事に注意せば危險を未發に防ぎ各店舖は素より居留民一同の便利尠からざるべしと

▲**韓國の府郡面統計表** 韓國行政區域に就き内部地方局地理課の調査によれば現在の府郡面數左の如し(十月現在)

府名	署數	坊數
漢城府	五	四四

道名	府數	郡數	面數
京畿道	一	三六	四二九
忠淸北道	〇	一八	一九九
同　南道	〇	三七	三九二
全羅北道	一	二七	三八〇
同　南道	一	二八	四三六
慶尚北道	〇	四一	五三一
同　南道	二	二七	四六一
黃海道	〇	一九	三四五
平安南道	一	一八	三一三
同　北道	二	一九	二六四
江原道	〇	二六	二四二
咸鏡南道	一	一三	二二六
同　北道	二	九	一二二
計	一一	三一八	四、三四〇

▲**齋藤大佐以下の囑托** 元統監府間島派出所長齋藤大佐以下派出所員は向三四箇月間統監府囑托として殘務を處理せしむる事に決定し昨日左の如く任命ありたり

元統監府臨時間島派出所殘務整理を囑托す但し手當として一箇月五百五十八圓給與す　陸軍步兵大佐　齋藤季治郎
同上但手當一箇月二百圓給與　前技師　八田吉平
同上　前技師　太田鎔
同上　前通譯官　山本貞淸
同上月手當百五十圓　前通譯官　糟谷龍三郎
同上手當百十六圓　前事務官　鈴木信太郎
同上二百六十六圓(十一月二日付)

▲**獨逸新聞記者の招待** 當地三井物產會社支店長淺野長七氏は來遊中の獨逸フランクフールテル、ツアイトング記者ドクトル、ウエルトハイメル氏を六日夜掬翠樓に招待し晩餐を供したり倚當夜の陪賓は獨逸總領事クルゲル小松外務課長本田書記官山縣ソールプレス原田京日峰岸本社長の諸氏なりし

▲**京都學生の修學旅行** 京都市立商業實修學校生徒廿九名は教員二名に引率せられ修學旅行として渡韓し釜山永登浦仁川等の見學を終へ七日着京南山町原金旅館へ投宿せり當地滯在は約四日間にして各種の商工業を視察し大邱へ向け出發する由同一行は經路至る所歡待を受け大に喜び居れり

▲**獨國記者今後の旅程** 前記ツアイツング記者は九日朝下仁櫻丸にて臺灣に赴き三週間滯在の後東京に至り二箇月間觀光の上歸國すべしと因に同記者は昨日統監を訪問したるも統監微恙の爲め石塚長官代つて面會したり

▲**東拓漁業調査員歸期** 東洋拓殖會社の平安道沿岸漁業經營に關する調査の爲め出張中なる社員等現に十名程ある由なるが本月中に終了して歸社し然る上にて經營の方針を定め主務部の認可を乞ふ筈なりと云ふ

▲**趙農相ご隨員の歸期** 伊公國葬參列の爲東上中の趙農商工部大臣の歸期は未だ何等の通知なきも二三日滯在の上直ちに歸韓する筈なりと尚は隨員鶴岡永太郎氏は他の用務の都合に依り一箇月程滯在の豫定なる由

▲**仁川經濟研究會例會** 仁川經濟研究會は本日午後七時より民役所樓上に例會を開き仁川築港速成に關する件及び月尾橋存廢に關する件韓内陸道路開鑿に關する件其他仁川に於ける重要問題に就き審議討究する筈也

▲**鍋島外務部長送別宴** 統監府外務部長鍋島桂次郎氏は今回荒川巳次氏の後を承け墨其哥公使に榮轉することとなりしを以て今八日統監府高等官一同は掬翠樓に送別の宴を開けり

▲**清國太皇太后大葬祭** 九日は清國太皇太后陛下の大葬日に付き清國總領事館各領事館及び清國商人等は何れも半旗を掲げ敬意を表する筈

▲**和國公使大連に向ふ** 滯京中なりし駐日和國公使ローエン氏夫妻は今八日午后四時下仁したるが明九日午前六時仁川出帆大連に赴くべし

▲**民長後任の撰定** 熊谷民長退職に就き既報の如く當局者は後任選定の參考に供せん爲め輿望の歸向を問ふ可く三浦理事官より和田民會議長を經て各議員へ向け夫れ〳〵望む處の適任者を申出づる樣達したるが聞く處によれば居留民中にも二三の野心家ありて現に猛烈なる運動を開始しつゝあり而して彼等が民長として果して適任者なるや否やは暫く別問題とするも競爭の通弊として甲若し成効すれば乙必ず嫉視し相互感情の衝突は結局暗鬪を助長し徒らに紛擾の禍根を遺すのみに止まれば該野心家の運動は到底不成効に終はるべしと某消息通は語れり因みに三浦理事官の諮問に係る候補者推選は各議員協議の上申出づるを許さず箇々別々に所望を具陳する筈にて今明日を期し提出せしむ可き都合也と

▲**民長事務の引繼準備** 民長事務の引繼は法令により十五日の期間にして熊谷前民長は本日より事務引繼の準備に着手したる由なるが何分二十餘萬圓の歲入及歲出を有する大自治團なれば書類の如きも頗る浩澣にして此際詳細の引繼を爲し後任者をして民團の事情を知悉せしむる便に供せんとて三箇年間の諸規則制定及既設の事業並に着手中の事業又は來年度經營す可き事等を明示する筈なりと云へり

▲**淺野氏の間島談** 永瀧總領事と同行間島を視察し頃日歸城せられたる淺野長七氏に就き聞き得たる間島談片は左の如し

今回私が間島に赴きたるは何等商賣上の意味ありしに非ずつまり見學に止まる次第であつたのです、從て新聞紙に御披露する樣な土產話は何も持つて居りませぬ、左樣間島と云へば之は東間島西間島の二ツに別れてあります私の見て來たのは東間島で全部の踏査はしませぬが其面積は長さ四十里幅二十五里で丁度我四國位の大きさであります住民の數は韓人八万二千清人二萬七千位で本邦人は五六百人許り居ります御承知の通り之迄統監府派出所の在つた龍井村に間島には水田はないが併し地味至つて豐かに畑作は充分出來る樣です主たる產物は雜穀で野菜類は何でも出來る樣です私の知つた所によると東間島農產物一ケ年の高は約三百萬圓で輸出雜穀の高は一ケ年五十萬であります輸入品は米金巾石油雜貨まで清津から入るものもありますが吉林から來るものも澤山ある樣であります土地面積が四國程あつて人口が僅かに十萬内外輸出が五十萬圓ソコソコと云ふ振はない狀態にあるのは畢竟外界との交通が不便な爲であります思ふに清津會寧間に於ける輕便鐵道を一日も早く本物となし運賃低減の方法を講せば間島住民の數は今日よりは必ず五倍となり從て輸出入も其比例で增すであろうと考へられます永瀧領事は到る所歡迎されました齋藤大佐は皆から惜まれて居ります問題解決の爲か清兵も最早亂暴を働かぬ樣です居住韓人は統監府派出所の引揚を非常に心細く感じて居る樣であります云々

●**管區長會議終了** 京城憲兵分隊に於て開催中なりし管區長會議は愈々今八日を以て全く會議を終了したる筈也

●**山道亞川氏旅行** 大韓日報主筆山道亞川氏は昨夜南大門出發二週間の豫定を以て韓内陸各地旅行の途に就けり

●**齋藤大佐入京期** 前間島派出所長齋藤大佐は七日清津着十三日入京の豫定也

●**神坂署長の來着** 慶尚北道永川警察署長神坂退三氏昨日入京旭旅館投宿

●**稻垣大尉の入京** 陸軍步兵大尉稻垣成久氏昨日入京浦尾旅館へ投宿せり

●**丸山侃堂氏歸坂** 大坂朝日新聞記者丸山幹治氏は昨日出發歸阪したり

●**天野警視の出發** 羅南警察部長天野章四郎氏は昨日大邱へ向け出發せり

●**泉田義夫氏退京** 宣川警察署長泉田義夫氏は去る七日出發歸任したり

▲治外法權▼

鍋島外務部長は愈々墨國公使に榮轉し不日當地を引拂はるそうだ吾人は此時に際し氏が多年の功勞に對し感謝する次第である、氏の後任者に就ては最早重要なる外交問題も落着したから現外事課長小松君が其代理となると傳へて居るが實際今迄の仕事でも多くは小松君の働きで重要問題の落着したさせぬとに係はらず同氏が其後を襲ふのは當然であらふ▲南大門通より赤門前に通ずる電車支線敷設は目下行惱みの由なるが多少の事情は打捨て是非速かに斷行して貰ひたい狹隘極まる塵紅街を人も馬も車も其上二頭馬車迄が混合して通行するのは誠に危險千萬である、電車を利用する爲め交通者を減じたりとて決して本町通りの繁昌に影響は爲ないのである▲本社は近頃編輯の體裁を一變し隨つて愛讀を賜はり近時片々を厭し治外法權の下より相變らず憎まれ口を叩くてはしぬ。

龍山の逐鹿界

……く活動を繼續せるのみならず最近に至り單騎陣頭に現はれ同志會の一角に衝り……に氏が逐鹿場裡に起つに至れる動機及……但奇觀依然として奇觀たり叙上の外松本、森芳太郎の諸氏……者が旅行中なる或る有力者が歸龍を待て不意に蹶起するやも計られず……

……に統監府に於ける重要なる外交事務は署決了し最早や勅任の外務部長を置くの必要なきを以て小松書記官をして外……

……査會を内部に於て開會し大韓醫院附屬醫學校規則の件に關して協議を爲たり



福井茂兵衛優 (十)

▲當地壽座に出演する

當地も歡迎の裡に滯りなく樂を告げて、大坂浪花座に這入り同座開演中に松井源次郎、矢䝨晋吉等の俠客が其名祭を開き興行を申込んで來た、數度交渉の上話しが纏まり兵庫辨天座に蓋を開ける事になつた。

處がその時福助(梅玉)、雁次郎、橘三郎等大阪舊派の錚々たる連中が神戶大黑座に乘込み、相生座のコケラ落しに我童(先代)、右團治、巖笑の大一座で看板を揚げ恰も三座鼎立の有樣となつた、この形勢を聞いた川上は急に怖氣がついて『那麼大敵を控へては迚も勝てつこはない、駄目だ』と呟いて居たから僕は八方宥めたがその甲斐もなく到頭ドロンを極込んで仕舞つた、さア大變!松井、矢䝨からは『必定これは君が逃したに相違ない、よし又假令でなくとも一旦契約した以上その責任は君にある譯だ、怎うしてくれる積りだ』と退引ならぬ手詰の談判、グット弱つて『逃げたものは仕方がない』と觀念めて要するに相當の代人を立てたら可いだらう』と急場塞ぎに言ひ放ち一先歸したが後で首を捻つて見ても可然代人の心當りがない、先方からは矢の如き催促に困じ果て遂に『俺が勤めてやらう』と返答した、兩人は狐に欺されたやうな顏付をして姑し茫然と僕の顏を眺めて居たが『何、君がやる、そんな眞似が出來るものか』と最初はていんで取合なかつたが頑として決心の程を示したので二人も得心して玆に漸く開幕は片附いた。

これがそもそも僕の役者として舞臺に現はれた初めで明治二十五年でした、本名のまゝでも可笑しいと言ふので鳴鹿と名乘り狂言は岩崎舜花の書卸した『書生の犯罪』で惡書生剛一と介錯喜子の二役に扮し好評を博したのです、大[illegible]してこれ迄幾度となく手強い意見を加へたのですが今度芝居を演るといふ噂を聞き氣相を變へました(未完)

左近の惡性梅毒

▲檢梅醫員の不正事件

當地新町廓內診療所の醫員が緣故或は袖の下の如何に依りて檢査に手加減ありと公衆衛生上甚だ患ふべきものある由は度々耳にしたる所なるが今又下の如き投書に接したれば其要領を摘記せんに同廓內第一樓支店に左近と名乘る一寸澁皮の剝けた女の居ることは無粹の横濱生れの美人と云ふ程でもないが一記者が事新らしく吹聽する迄もなく粹樣先刻御存知の筈なるが此の女歲に似ぬ勿々の强者なるも道理十八歲の春より釜山にて稼ぎ居たるが好きちやんが出來たので嵩む借金に首も回らず十九の春當地第一樓支店へ鞍替したる程の刑場持ち傾城傾國の容姿はなけれ此奴一番爲めになる椋鳥だ哩と見たが最後肱鐵砲の臺尻でグリ〳〵を極め込んで溫突の三間や五間傾けさせる位は朝飯前の鐵當とか然り乍ら前にも述べし如く大威張で通用する面でなければ數で貿るのを專一と娼實に出精したる報ぬは覿面此の九月中旬より鳥に翼舟に舵女郎には免れぬ梅毒の加かも惡性の夫れに罹りたるより檢査日迄に何うかなして上面丈でも癒して置かねば到底入院せねばならず毒滅は申すに及ばず彼れか是れかと服用したるも一通りならぬ惡性梅毒なれば[illegible]に河童の屁何んの効顯のあらばこそ思案に蹙り揚句の果不圖思ひ出したは醫者先生が袖の下の都合に因りては甚だ融通の利く人なりとの噂、物は試しと先生のポケットに中は何にやら白紙にのしとも啻かず包んだ奴を密と投げ込み何分宜しく願いますと目に言はせた利目の程は恐ろしきもの病氣も入院に及ばず通ひにて屹度俺れが癒して行る安心しろとの御託宣に夢かと計り躍り上つての大喜びにて其の後店も張れは客も取つて梅毒傳播に精を出して居るとは近頃危險千万ならずや若し此の投書にして事實ならば此の他にも此の種の非事の行はれ居れりと云ふ噂も嘘とは云へぬ理窟なりかし

滑稽戀路の疊屋

▲出雲神さまの大縮尻

[illegible]中村某さいふは獨樓の[illegible]町三丁目堺ハックの長[illegible]女に雇入れしが中村[illegible]の好きを希望してカメ[illegible]けしも勝手好く運ばず[illegible]と若駒には金轡を箝む[illegible]の金を貸し與へなど[illegible]貧ひモウ好き時分と再[illegible]を開始せしに又しても[illegible]は中村は業を煮し稍强面に意に隨はせんとせしにカメノも去る者何時の間にか主人の本職を習得しものやらポンと當てたる小肱は中村が疊に當てるよりも手酷く主人顏も金の威光もあつたものでなく中村少々タヂ〳〵の躰を見てカメノは自宅に逃歸りしより中村は母のハツに懇願して十一月三日迄と日限を切り再びカメノを伴れ歸へり今度は脅し文句を並べて物にせんとするにぞカメノは少女氣の恐ろしうて堪らず窃かに主家を逃出して自宅にも歸へらず何れかへ隱れて了へり中村はモウ燒糞の眞黑となりてカメノが母親に喰つて懸り金を返へせ返へさずば何うするの斯うするのと恐ろしさに警察に保護やら說諭やらを願出でしが玆に大坂生れ當時龍山柳町出雲大社出張所の事務員高橋幸太郎(四二)といふがあり此の緣取持つは出雲大社の御役さて拙者の職務とばし心得しかハツが方に出向きて脅しつ賺しつの最中前記の願により警官出張して委細を聞取り叱りつけられて引退りしとかサテ此の後の出雲の神樣何う御裁きになるものやら高橋も頗と存[illegible]

當世娘氣質

△貧に泣く老[illegible]

△馬脚を[illegible]

原籍山口縣大島郡[illegible]五郎次女木村よし[illegible]肩揚げの取れぬ時[illegible]は土臭き田舍に踏[illegible]活を嫌ひ遂に故郷[illegible]不明なりしが同人[illegible]係して京城三界ま[illegible]町七丁目某飲食店[illegible]と僞名して居たる[illegible]同署より實父に通[illegible]大に驚きながらも[illegible]理算段して旅費を[illegible]着京して南部署に[illegible]國せるが桐原警視[illegible]諭したるが親不孝[illegible]

元巡査の無錢飲食

▲罹病の酌婦を辱しむ

原籍岡山縣岡山市三番町十四番地士族當時京城大和町二丁目番戶不詳無職佐伯新平(三九)は以前岡山縣巡査を拜命し本年京城に來り警視廳巡査に任せられたるも其後虎疫終熄と共に解雇せられたる者なるが去る五日午後十二時過ぎ大和町二丁目百五十番戶料理店軒原はな方に於て警視廳刑事と僞稱して無錢飲食をなし剩へ同家抱酌婦安野てま(二二)に對し强て同衾を求め同人が病氣とて拒絕せしにも拘はらず暴力を以て溫突內に拉し去りて無理無體に辱しめたるを南部署刑事に探知せられ酒井警[illegible]

●湯屋稼ぎ捕はる　福岡縣朝倉郡小石原村大字小石原百六十四番地平民農鬼丸源三郎(二五)は原籍地にては恆產とてもなく農業も捗々しからずいつその事韓國の田舍にて農業に從事し一旗擧げんものと昨年渡韓して各地を放浪せしかど一向思はしからず近頃京城へ來り相應しき職業を求むるもあらずして今は着の身着の儘となり住所も一定せず非常に困難に落入りしが昨日午後明治町明治湯に入浴して歸宅に際しふと惡心を起して浴客の衣類を着用して將に歸らんとする所を發見せられ南部署に身柄引致其儘留置せられたり

●又例の無錢飲食　兵庫縣平民當時京城南大門通三丁目五番戶居留ペンキ職武內嶽治(三七)は六日午後九時頃支那領事館前通り居住同職春本米吉を誘ひ出し本町一丁目裏通り飲食店梅の家事野村梅次郎方に揚り込み鱈腹飲酒し[illegible]定が仕拂はず主婦は[illegible]三圓をも請求せしを[illegible]酒氣を藉りて之に應[illegible]主婦を毆打して喧噪[illegible]に南部署赤松刑事が[illegible]り掛り直ちに同人を[illegible]を支拂ふ樣深く說諭

●大工の放火未遂　福岡縣平民[illegible]一丁目六十四番戶高[illegible]職長沼虎吉(二二)は平[illegible]き男なるが昨日午後[illegible]鱈腹呷りてヘベレケ[illegible]を働き自宅の板張に[illegible]せんとするを高木の[illegible]に急訴せしに依り直[illegible]して取調べたるに室[illegible]破壞投藥して二階の[illegible]池を撒布せし形跡顯[illegible]火未遂犯人として本[illegible]

●盗難頻々たり　若草町一丁目一石商店內森淸太郎は五日午後五時頃南山町一丁目元澤田旅館の上側新築中家屋の床下に入れ置きし鋸五箇(一圓八圓)鑿二箇(一圓五十錢)其他大工道具數箇を竊取せらる△大和町三丁目廿一番戶山川喜八方へ五日午前十二時頃家人の不在中戶締を破壞して泥棒忍び入り柱時計重箱洋傘等を攫浚はれたりと御要心が肝腎

●新町の小火騷ぎ　六日午前二時過ぎ新町二丁目二十二番地の四建築請負業淸水彌三郎(四三)方仕事場の小屋內に異樣の臭ひあるを淸水方職人が怪

●小泥棒の大縮尻　大分縣平民當時京城櫻井町四十七番戶雜貨商安藤直太郎(三〇)は去る五日午後十二時過ぎ大和町二丁目松本はるの肩掛一枚を竊取して所持せしを昨日午後一時頃南部署に探知せられ準現行犯として引致し目下酒井警部取調中

●狂犬に咬まる　仁川仲町一丁目居住の福市勝三郎(四五)は一昨日午前十一時頃寺町二丁目にて犬に足部を咬み附かれしかば其の旨警察署に訴出で警官出張取調べたるに該犬は寺町二丁目小森金次の飼犬なりし事判明せしにぞ醫の手にて檢診中なりと

●持主不明の荷車　南山町一丁目通り路傍に昨日荷主不明の荷車一臺藥置きありたれば南部署にて保管せり心當りの者は至急申出づべしと

●松旭齋小天一　仁川歌舞伎座の演劇活動寫眞芝居は本日限り打揚げて龍山に乘込む筈なるが其跡口は大連より松旭齋小天一乘込む由

●一奴女郎の鞍替　仁川敷島遊廓敷島樓にて此妓ありと知られたる一奴女郎は今回同樓內朝日樓に鞍替して藝名を貞奴と改めたり

●驛馬の自由行動　南部廣通坊茶洞五戶在留陸竹部長湖院李敬範方へ飼養の驛馬一頭昨夕外繫綱を嚙切り逃走せり

●色町だより　昨夜新町遊廓の嫖客は百八散財高五百七十三圓十三錢也き

演藝

壽座　福井伊東合同劇は連日大入をなしつゝあるが明九日及び明治十日兩日の藝題は曾て伊東文夫が韓國の劇壇に於て無上の好評を博したる「松風村雨」にして大体の役割は以前と異ならざれども只福井茂兵衛優の美代子は恐らく天下一品とも云ふべく其他小泉三猿の樋川、吉野の幸子抔も又觀物あらん

△場割●●(一)向島花月花壇(二)東京樋川昌之宅(三)大阪天王寺樋川昌之宅(四)濱寺一力樓(五)北浦乙哉奧庭(六)京都智恩院(七)東京高輪病院

△役割●●樋川友人矢田周一(伊東文夫)樋川昌之(小泉三猿)樋川妻後に北浦妻幸子(吉野小次郎)北浦從妹大山絹子(藤島紫水)理學博士栗原明(香月章)樋川下女れ松カッポレ踊(小伊藤恒夫)藝者吉五郎 吉井巳之助 院長青山(夢路官)北浦乙哉女髮結れ琴(小泉英二郎)一力仲居れよし(三好信雄)藝者源吉(田中貞雄)北浦律子 津村靜香 樋川娘すま子(高井直治) 柴田彌之助カッポレ踊(芳川春峯) 仲人野村英夫(北秋喜三郎)藝妓小松屋美代次后樋川妻美代子(福井茂兵衛)

外務部長の後任

鍋島外務部長の後任者に就て聞くに既[illegible]

●法令審査會開設　去る六日法令審[illegible]務部長代理たらしむべしと(電通)

[illegible]新局面[illegible]報道せしが如く龍山の[illegible]平和を庶幾[illegible]公平なる選良を擧げん[illegible]欲するの意を宣明して起ち爾來治斷に[illegible]する者なきを以て大勢既に定まれりと[illegible]當たるに一昨日に至り突如岡井衞氏は桃山町大嶋町一帶の有志者に推されて[illegible]

吉凶鏡

本町五丁目 三一館判斷

十一月九日舊九月廿七日●●一白大安癸酉ひらく△一白 厄運の日なり旅行及び轉任大に凶家畜兒女の事注意すべし△二黑●●不如意の日なり新事見合すべし談判相談依賴婚姻養子の事談凶△三碧●●澀滯の日旅行開店開業婚姻等に良好△四綠●●顯進榮達の日なり婚姻入學門相談契約訂結等に大に吉△五黃●●衰運たり新事見合の事紛爭盜難防ぐべし△六白●●不鬪收益若くは便宜を得る事あり其他平靜の日なり△七赤●●兒女家畜使用人の事注意すべし物事齟齬し易し△八白●●澁滯鬱塞に流れ易き日なれば込入りたる事件及び法律關係は之を訂せざるべし△九紫●●物事不得要領に終り易し新事及び更改の事凶農林の業務には吉とす

右は概括的判斷なり各人格別に付ては直接に同館の鑑定を請はる可し



●天氣豫報(自八日午後六時至九日午後六時)

北西の風少雨後晴

七日(華氏) 最高溫度 四七、五 最低溫度 二七、五



各種 洗濯石鹸 專門製造販賣
用途 一、陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道湯屋、散髮、諸工業用
京城旭町二丁目（電話九七三番）
朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●募集 敏腕なる外交員至急入用希望者は直接京城本六滑稽新聞社へ來談あれ
●少年入用 十七八才少年入用 大和町一丁目 寫眞堂醫院
小僧入用 大和町一丁目 井出張店
●被雇度 年三十二身体强健如何なる勞苦をも不厭相當の勤め口を求む 氏名在社（四六七）
●貰子入用 多少商業に經驗ある女子に限る希望者は本人來談あれ 京城大和町一 日の出橋際藤井出張店
●植字に雇はれたし給料不望 氏名在社（四六六）
●小僧入用 年齢十五六歳にして身元引受人ある者二名至急入用 明治町 日韓印刷會社
●至急求職 確實なる保證人を有する身體强健なる壯年男兒如何なる勤勞にても厭はず至急職を求めたし氏名在社
●當事務員 相當の教育ある青年至急職を求む 氏名在社（四七三）
●外交員募集 一日一圓以上の收入ある外交員一名至急入用氏名在社（四七七）

物件部

●貸家 南山町二丁目二階建二間温突外八疊外三間井戸附右今月より貸したし家賃面談 氏名在社（五六四）
●電話 未設（不日かゝる分）讓渡したし 氏名在社（四六二）
●貸家 官吏向二、三、六、八疊宛貫平家一棟湯殿物置附廣門構有家賃三十圓 氏名在社（四六一）
●醫院讓渡 京城市内有望の地希望の方は至急申込あれ 氏名在社（四六三）
●京城旭町一二階四疊半二間賄付貸し但可成官吏を望む 氏名在社（四六四）
●電話讓受たし 京城黄金町廿番戶農商工部前通り 京城勞働組（四六五）
●本町表通一等地商店向間口二間半家賃廿圓の處造作悉皆四十圓にて讓渡度し希望者は韓路赤帽子號高橋方へ急談
●貸家本町通り目拔の場所にて貸家あり希望者は來談あれ氏名在社（四七〇）
●自轉車 英國製コースター付格安に賣渡したし 氏名在社（四七六）

廣告

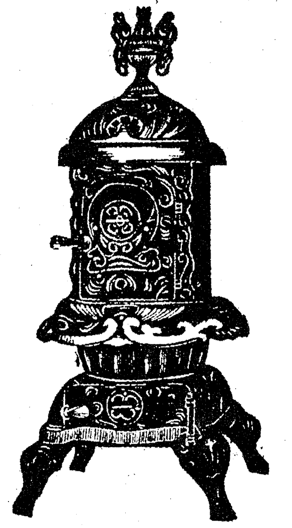
龍山桑町 歐米新式 高等裁縫 田口洋服店 電話三一二番

陸軍諸官衙御用達 建築土工請負業 龍山老松町 磯口商店 電話一一九番

馬車配達
●●●滋養と牛乳●●●
純良 牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話登〇六九番
●●●衛生と消毒●●●

京城明治町一丁目 醫學士 佐佐木四方志 佐佐木醫院 （電話八一二番）

大根大賣出
澤庵漬用大根
漬物用白菜
農商工部園藝模範場御拂下品 自園栽培
例年の通り品質特撰の上價格廉價を以て販賣仕候間續々御用命之程願上候現品配達は來る廿五日より開始仕候追て御申込の御鳴にも可應申候
京城本町一丁目（長谷川町筋）三輪商會 電話三八六番

暖爐各種

煙突取付並ニ煙突掃除大勉强
京城本町五丁目角一番戶 電四七一番 馬木勇
龍山山下町兵器廠官舍道入口 電三六四番 馬木支店

吉店

新 電話開通 八百三十五番
唐津石炭 直輸入商
並ニ平壤無煙炭あり
京城太平町二丁目九五 南大門高等女學校裏通り
近藤商店

神戸資生分院
京城梅毒病院
京城相生町（南門湯横）
◎花柳病專門附、痔一般 注射療法
●入院隨意●
院長 醫學得業士 蘆田耕平

廿五日迄開業祝として一割引
かいきまわた
進物用眞綿、眞綿製防寒具類
京城本町一丁目（長谷川町へ通る）
京城代理店 栗永商店

服部新治謹製 腦病全治藥 腦丸
頭痛 腦神經病 腦病
丹平商會 中井平商會

院長 醫學得業士 中島貞意
中島醫院
京城壽町三丁目（電話三七八番）入院隨意

特約販賣 自製
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
大上商店
和洋酒、⦿精酎、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽各種特約販賣尙御望に依り商品切手調進仕候
（電話二一五一番）

●品質純良の牛乳を得んとせば乳牛の食料に注意を要す弊場夙に此に留意し好良の食料を給す
●弊場搾取の牛乳を愛飲せらるれば御體格益々滋養豐富風味佳良の牛乳を飲用し得らるべし
京城本町五丁目（電四七番）
販賣元 松尾支店
搾取場 松尾牧場

辯護士 岡田榮
熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）
京城旭町一丁目六十七番戶
（電話三九八番）

辯護士 特許辯理士 岩田仙宗
京城明治町二丁目（佛國教會前）
電話三五四番

諸官衙御用品調達
營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐デシン 穀物食鹽 諸染料類
各學校御用品調達
委託販賣
東京ランバーグ商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
藤田合名會社
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
釜山臺鹽合資會社食鹽特約店
本社 京城明治町二丁目（電話二三〇番）
出張所 東京京橋南鍋町一丁目 東京電話新橋三六九二

龍山元町三丁目
院長 醫學得業士 長尾乙二
長尾醫院

特定御用 荒井牧場 牛乳

入院隨意
南山町二丁目
松岡醫院
電話六七五番
各科診療

味の素
一般の家庭料理は勿論和洋料理として日常欠可らざるもので鰹節や昆布の様に色々面倒な手數も入らず誰れにでも即座に用ひ得らるゝ調法及經濟的調味品であります
定價一瓶四十五錢、三十錢
他地方は引換小包にて送ります
韓國特約店 京城 辻屋 電話二四八番

牛乳 純良 消毒 檢査濟
韓國畜産株式會社
南大門外（電話八八番）

（待合）

京城本町五丁目
相易斷 教授 三一館
館主 土御門派 陰陽師

京城光化門通
淺田洋服店
店主 大島泉藏
（電話四百十三番）

表裝 一切 襖 製作販賣
原料を精撰し技術審美的にして價格亦頗る廉價なるは弊堂の特色!!
京城明治町二丁目
古香堂主 山本平治


胃腸消化新劑
澱粉消化 ヂヤスタリン
蛋白脂消化 ゲスチンヂ
錠劑十日分（三十粒入一瓶）二十錢
散劑一オンス入（一瓶）一圓二十錢
錠劑十日分（三十瓶入一瓶）三十錢
散錠一オンス入（一瓶）二圓四十錢
右は最近内地に於て急激の需用を來したる名聲嘖々たる世界無比の理想的絶品にして所謂賣藥には無之候各地有名なる藥店に於て販賣す
●大韓醫院御用藥
韓國一手賣捌元 京城光化門通 大島專藏

蒸氣 消毒 牛乳
京城大和町一丁目
平山牧場
電話一三一

會席御料理 御一人前 肴四品付酒二本 金六十錢
すき燒其の外應御好
京城竹園町一丁目
遊樂樓（元三遊樓跡）

貨物運送取扱 稅關貨物取扱 貨物引換證發行
危險擔保附運送 品代金付貨物運送
內國通運株式會社
京城南大門驛前 京城支店 電話一七九番 電話七〇八番
仁川驛前 仁川出張所 電話五一番
草梁驛前 釜山驛前 釜山出張所 電話六三七番 電話五一六番
龍山驛構內 龍山出張所 電話二〇六番